

第 1 回 富山駅周辺整備協議会資料

- 1 . 協議会における検討方針…………… 1
- 2 . 検 討 ス ケ ジ ュ ー ル…………… 3
- 3 . アンケート調査案の検討…………… 5

平成 1 5 年 7 月 4 日
富 山 市

1. 協議会における検討方針

(1) 検討の主旨

富山駅周辺地区は、これまで富山市の中心的拠点として、鉄道を中心とした交通結節機能や商業・業務・サービス機能の集積が進められてきた。

しかしながら、車を中心とした市街地の拡大が進む中で、中心市街地全体の衰退が顕在化し、現状の富山駅周辺地区は、鉄道が駅南北地域を分断していることによる交通や生活圏形成における諸問題や、富山駅北開発と駅南地区の一体的な都市核形成に課題を残している。

一方、富山市の総合計画や都市マスタープランなどの上位関連計画においては、公共交通を活かしたコンパクトで一体的な、魅力ある都市づくりを目指す方向性が打ち出されており、富山駅周辺地区もその中で重要な役割が期待されている。

このため、平成25年ごろに完成が予定される北陸新幹線の整備は、富山駅周辺地区の今後の発展、ひいては富山市中心市街地の活性化を実現する上で、貴重な機会であり、予定される在来線の高架化事業等とあわせ、富山駅周辺地区の整備を効率的、かつ効果的に実現していく必要がある。

こうした背景のもとで、本協議会は、北陸新幹線の整備、連続立体交差事業の導入を契機とした富山駅周辺地区の総合的な整備を実現するため、関連各分野を代表する方々に整備の内容等について、幅広い議論をして頂き、計画案の策定を検討して頂く場とする。

(2) 検討の前提

1) 検討対象地区

検討対象地区は、富山駅を中心とし、関連する事業や一体的なまちづくりを進めるべき範囲を対象とする。(別図参照)

2) 検討の前提条件

今後の検討にあたっては、以下の諸点を前提条件とする。

新幹線と在来線の高架化の形態

既に北陸新幹線及び在来線の連続立体交差事業の計画検討が進捗しているため、新幹線と在来線の高架構造の位置及び規模については、前提条件とする。

富山駅の駅務施設の位置

上記の通り、新幹線のホーム位置が前提条件であり、ホーム位置から想定される富山駅の駅務施設の位置についても、前提条件とする。

富山港線の路面電車化と既存路面電車との接続による延伸

富山港線の路面電車化は、平成18年度をめぐりに具体的な検討がスタートしており、また、将来既存路面電車との接続による軌道の南北一体化についても、市の方針として謳われている事から、前提条件とする。

富山駅南口駅前広場の計画高

現在の富山駅南口駅前広場は、南北方向に約6%の上り勾配となっており、利用しにくい形状となっている。また、北口駅前広場と約3mの高低差があるため、南口駅前広場を平坦な広場とし、駅南北の計画高を合わせ、駅南北で一体的な利用が出来る空間とする事を前提条件とする。

(3) 検討の内容

協議会での主な検討事項は、以下の内容とする。

富山駅周辺整備の基本方向（将来像、整備目標、整備コンセプトなど）

富山駅周辺の都市交通施設整備方針（駅前広場、駅周辺道路、駐車場など）

富山駅周辺のまちづくり方策（土地利用、空間活用、景観形成など）

以上の検討に基づく富山駅周辺地区の整備計画案

(4) 検討方法

検討の進め方は、事務局で作成した資料を基に協議会で各委員よりご意見を頂き、検討を進めていくことを基本とするが、必要に応じ各委員から資料の提出等をお願いする。

また、協議会資料、議事録は、広く一般に公開するとともに、アンケート調査や市民懇談会の開催により市民からの意見を幅広く募集し、これらを協議会での議論に反映させる。

(5) その他

富山駅周辺地区の整備は、富山市民の幅広い理解と協力が必要であり、計画案策定にあたっては、オープンな議論が必要と考える。このため、本協議会は公開とする。

2 . 検討スケジュール

(1) 全体検討スケジュール

本検討は、平成 1 5 年度、 1 6 年度の 2 ヶ年の検討とする。

平成 1 5 年度：富山駅周辺整備の基本計画案の整理

(富山駅周辺の都市交通施設の整備方針については、先行的に検討)

平成 1 6 年度：富山駅周辺整備計画案の策定

(2) 平成 1 5 年度の検討の内容とスケジュール

「富山駅周辺整備協議会」は、平成 1 5 年度は、 4 回開催を予定する。

検討は、最初に各委員からの意見等を幅広く頂き、それらの意見をも踏まえ事務局で基本的な考え方(案)や富山駅周辺の都市交通施設の整備方針(案)のたたき台を作成し、これについて議論を頂き、基本的考え方及び都市交通施設整備方針をまとめていく。

その間、検討の進捗に合わせ、 2 回程度のアンケート調査や地域での懇談会を開催し、幅広く市民の意見や意向を把握し、協議会での検討に反映していく。

<平成15年度の検討の内容とスケジュール(案)>

第1回：7月4日)

本検討会の検討内容、検討範囲、スケジュール

富山駅周辺地区の現状と課題

北陸新幹線、富山駅の連続立体交差事業等関連事業の概要、及び富山駅周辺地区の都市整備上の位置づけ

を説明し、富山駅周辺地区のあり方について自由な議論をして頂く。

(第1回目のアンケート調査)

駅周辺整備に望むことをアンケート調査する。

(第2回：9月中旬)

- ・2～3人の委員(学経、地元経済界等)より、富山駅周辺地区の整備を検討の際の視点等について意見を発表。また、事務局より第1回目のアンケート調査結果や特徴的な駅周辺地区整備の事例等の紹介を行う。
- ・これらの議論を材料にして各委員から、駅周辺地区整備についての意見を幅広く議論して頂く。

(第3回：11月中旬)

- ・第1、2回の協議会の意見を整理評価しながら、市から基本的考え方(案)を示す。
- ・併せて、駅及び駅周辺都市交通施設の整備方針(案)を示し、議論して頂く。

(第2回目のアンケート調査)

基本的な考え方(案)、都市交通施設の整備方針(案)に対する意向調査

(第4回：2月中旬)

- ・第3回の協議会及び第2回目のアンケート調査の結果等を踏まえ、基本的考え方、及び都市交通施設整備方針をまとめる。
- ・また、都市交通施設の整備方針を踏まえ事業化するにあたっての課題を整理する。

3 . アンケート調査案の検討

(1) 調査の主旨、内容

1) 調査の主旨

大規模な公共事業の実施に向け、計画の各段階において、市民の意向や意見の把握により、合意形成を図っていく必要がある。このため、協議会の資料、議事録をインターネット上で公開し、あわせてアンケート調査による、市民の意向や意見を幅広く求める。

2) 調査の内容

アンケート調査については、2 . 検討のスケジュールに示すとおり、検討の進捗に併せ、2回実施する。

各アンケート調査の内容については、事前に協議会に諮り了解を得た上で、インターネット上に公開し、回答を募集する。また、広報誌にアンケート調査内容を掲載し、F A X , 郵送等による回答も受け付ける。

< 第 1 回目のアンケート調査内容 >

第 1 回目のアンケート調査では、最初の段階での意見把握手法として、駅周辺整備に望むことを自由意見で記述していただき、事業に対する期待や意向を把握する。(選択方式・自由記述方式)

(質問項目 (案))

- a) 駅前広場の整備について
- b) 駅周辺の土地利用について
- c) 鉄道高架下の利用について
- d) その他

(別紙 アンケート調査 (案) を参照)

< 第 2 回目のアンケート調査内容 >

富山駅周辺整備の基本的な考え方 (案) 、都市交通施設の整備方針 (案) に対する意向調査を実施する。

3) 調査結果の反映 :

調査結果は協議会に報告し、協議会での検討に反映するとともに、インターネット上で公開する。

